

研究機関：広島大学

研究課題名	日常診療で経験した膠原病患者に関する後ろ向き研究
研究責任者名	広島大学病院リウマチ・膠原病科 教授 平田信太郎
研究期間	実施許可日 ～ 2029年3月31日
対象者	2009年1月1日～2028年3月31日に広島大学病院リウマチ膠原病科もしくは呉医療センターを受診され、膠原病と診断された患者さん。
意義・目的	膠原病は稀な疾患であり、その多くは未だに原因が不明です。炎症性の要素が強い疾患では、ステロイドや免疫抑制剤などの早期治療で改善を見込めますが、いずれも副作用が多く、それらを最小限に抑えながら病勢コントロールを行うことが重要です。また、昨今の治療を駆使しても腎炎、間質性肺炎、末梢神経障害などの臓器合併症で日常生活に支障をきたす方もおられます。当科で経験した患者さんの治療経過を検討することで、今後の膠原病患者さんの早期診断や治療予後改善を目指す目的で本研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、BMI、診断名、合併症、既往歴、治療内容、臨床症状・所見、合併症、血液・尿検査値、画像検査、生理検査、病理検査、治療法、評価項目・転帰です。 （個人を特定可能な情報は解析に用いません） また、本研究は通常診療で採取され残った血液検体（残余検体）を用いて、病気の活動性との関与が予測されるタンパク質などを測定し、解析に用います。 上述のように誰のものか分からないように加工された試料・情報は本学の他に、共同研究機関から郵送等で提供されます） 本研究は運営費交付金により実施し、本研究に関わる利益相反はありません。
共同研究機関	呉医療センター 研究責任者：徳永 忠浩（研究機関の長：下瀬 省二）
試料・情報の管理責任者	広島大学病院リウマチ・膠原病科 教授 平田信太郎
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。この研究で得られたデータは、研究終了後5年間適切に保管し、その後すみやかに破棄します。得られた結果を学会や医学雑誌などで公表する事がありますが、情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありません。 残余検体を将来別の研究で使用する場合は、個人が分からないように匿名化した上で利用し、改めて倫理審査を受け、承認を得た上で使用します。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5539

広島大学病院リウマチ・膠原病科 教授 平田 信太郎

広島大学病院リウマチ・膠原病科 助教 吉田 雄介